

恵庭岳の火山活動解説資料（令和4年9月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1～3）

27日に国土交通省北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。山頂東側の爆裂火口内には従来から知られている2か所の弱い白色噴気を確認しました。赤外熱映像装置による観測では、過去の観測（2019年8月）と比べて、地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

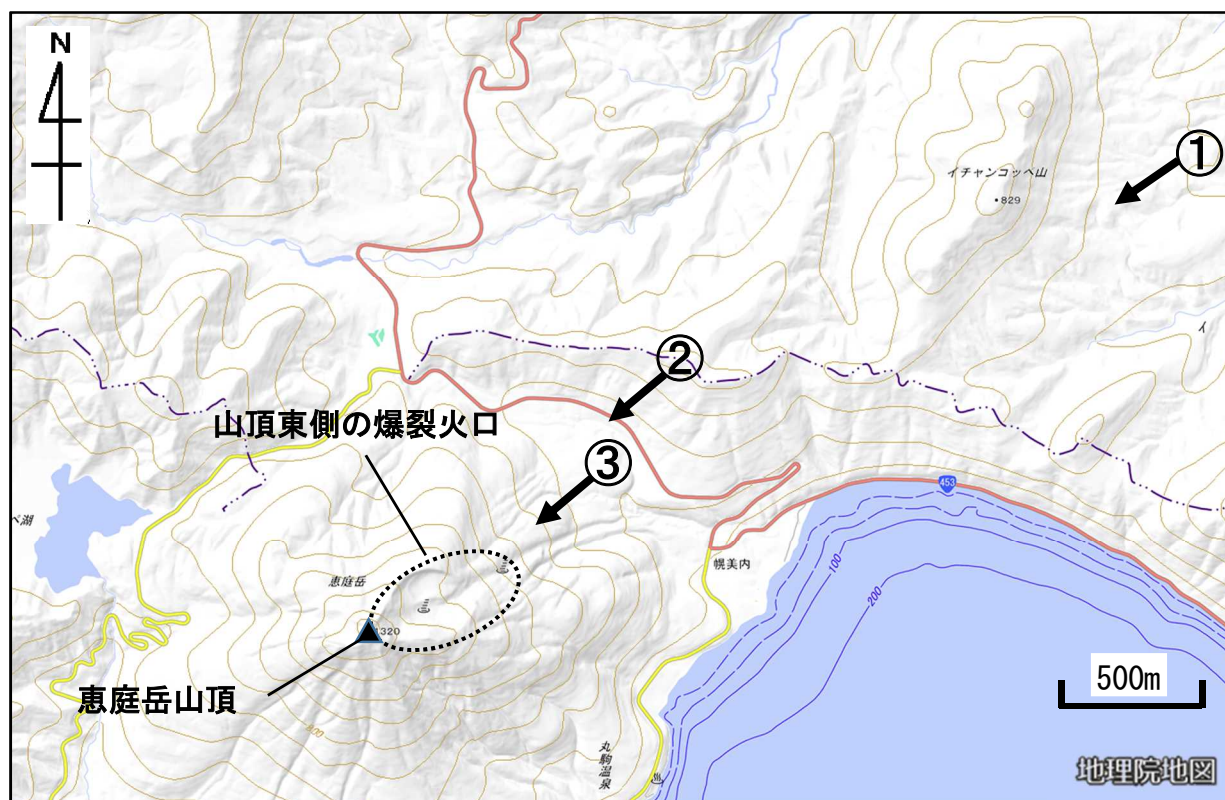


図1 恵庭岳 周辺図及び撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 恵庭岳 山体全体の状況 北東側上空（図1の①）から撮影

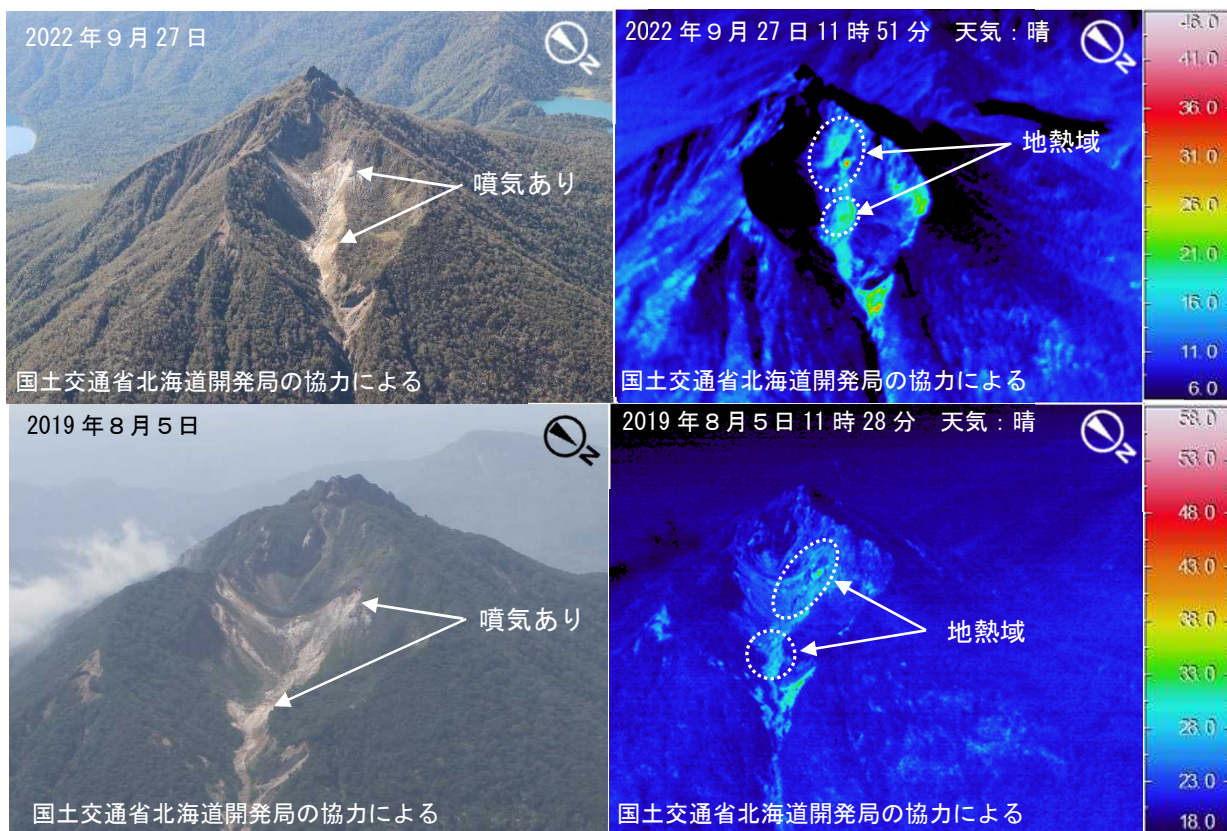


図3 恵庭岳 赤外熱映像装置による山頂東側の爆裂火口内の地表面温度分布

上段：北東側上空（図1の②）から撮影 下段：北東側上空（図1の③）から撮影

- ・過去の観測（2019年8月）と比べて、地表面温度分布に特段の変化はありませんでした（一部領域で周囲に比べて温度が高く見えるのは日射による影響と考えられます）。